

実施計画事業名		青少年交流事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名				
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり					
	施策	1	学ぶ心の育成を推進します					
	関連施策							
現状と課題	群馬県太田市との交流は、平成14年度から5ヶ年の事業として実施されてきたが、その後も継続して実施している。毎年、太田市の児童・生徒・サポーター随行者等が80名規模で訪れ(H19までは120名規模)、本市のこども達と交流してきたが、平成19年度からは太田市への派遣を開始して相互交流が実現した。また、国際交流事業としては、稚内北星学園大学が毎年サハリンの大学と行う短期交換留学事業に係る経費を補助している。							
目的	本市の青少年が、他地域の文化や風土に触れる機会を得て、見識を広める。							
5ヶ年開の	相互交流を通しての子ども達の効果は非常に大きく、今後も継続していく。							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	交流事業に参加した本市の児童・生徒の人数		人	目標	181	170	186	
	説明	他都市の児童・生徒が本市を訪問した際に実施する交流事業(交流会や産業体験授業など)に参加する本市の児童・生徒の延べ人数		実績	226	185		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	交流事業で他都市を訪問した本市の児童・生徒の人数		人	目標	32	32	32	
	説明	青少年交流事業で他都市を訪問した本市の児童・生徒の人数		実績	32	51		
	本市を訪問した他都市の児童・生徒の人数		人	目標	75	80	80	
	説明	青少年交流事業で本市を訪問した他都市の児童・生徒の人数		実績	78	76		
	青少年国際交流事業で相互に留学を行った学生数		人	目標	4	4	4	
	説明	同事業で他国から本市へ留学した学生、また本市から他国へ留学した学生の合計人数		実績	4	4		
			目標	-	-	-		
			実績					
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	3,512	5,543	0		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	0	0			
	一般財源		千円	3,512	5,543	0		
	この事業にかかる職員数		人/年	0.57	0.43	0.43		
人件費(B)		千円	3,948	2,920	2,920			
計(A+B)		千円	7,460	8,463	2,920			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 群馬県太田市との交流は、平成14年度から5ヶ年の事業として実施されてきたが、平成21年度以降も継続して実施している。また、平成19年度からは太田市への派遣を開始して相互交流が実現した。平成22年度の相互交流も実施が決定されている。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 太田市との交流もH23で5回目になることから、他都市との交流も含め実施内容の検討を行う必要がある。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし
	<A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 青少年交流事業に参加し、交流をとおして知識や視野を広め、同世代の考え方に触れた団員の中から、ジュニアリーダー会に加わり自らリーダーとして小中学生の指導に当たる高校生や、学んできたことを学校生活や行事に積極的に活かしていこうという子供たちの取り組みが見受けられることから、今後とも地域に誇りを感じる教育活動として取り組んでいく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	b	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--